

「GISで何ができるか -日本と世界」

最近、地理情報システム（GIS）技術は地球科学や災害分野のみならず、医療科学、経済、社会科学分野においても活用され成果をあげつつある。しかし、その有効性については十分知られていない現状である。そこで、新潟大学で開催される予定のINTREPREVENT2006（2006年9月25-29日）の機会に、わが国のGISの第一人者と、IT技術の進んでいるインドと、経済発展著しいロシアから講師を招いてGIS技術の活用の現状について知る機会を持つことになりました。GISに興味のある方なら誰でも参加できます。

（入場無料）

日時：2006年9月26日(火) 10:00-17:00

場所:新潟大学ベンチャービジネスラボラトリー

主催：新潟大学GIS研究会・にいがたGIS協議会

後援：INTERPRAVENT2006国際シンポジウム新潟組織委員会

国際戦略本部サポートオフィス、新潟大学災害復興科学センター



プログラム

10:00-10:15

主催者の開会挨拶と趣旨説明と祝辞

10:15-12:00

日本のGISの活用の現状

10:15-11:00

東京大学空間情報科学研究センター特任教授 今井 修氏

題目：我が国における参加型GISの展開

11:15-12:00

国土地理院地理情報解析研究室長 小荒井 衛氏

題目：日本のGISの現状と動向

12:00-13:00

昼食休憩

13:00-16:00

世界のGISの活用の現状

13:00-14:00

インド国立中央研究所主任研究員

シャントヌサルカル博士

題目：インドの自然災害管理におけるGISとリモートセンシングの役割

14:00-15:00

コーヒー休憩

15:00-16:00

ロシア雪崩安全センター所長

パベル チェルノス博士

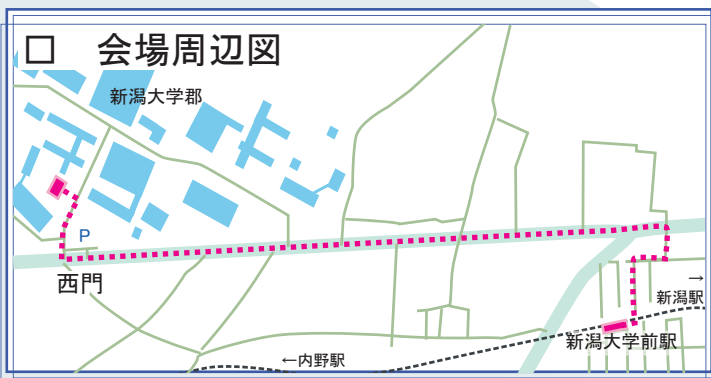
題目：ロシアにおけるGISの現状

16:00-17:00

自由討論

17:00

閉会挨拶



◆申込方法 参加申込書に必要事項を記入の上、FAX又はWebサイト (URL <http://www.niigatagis.com>) からお申込みください。なお、定員に達し次第締め切ります。

◆申込期限 平成18年9月22日(金)

◆お問合せ先 新潟大学自然科学系 山岸宏光

Tel・Fax : 025-262-6957 E-mail : hiroy@env.sc.niigata-u.ac.jp

にいがたGIS協議会事務局(中央グループ株)GIS事業部内 武藤、坂井宛

Tel : 025-282-2600 Fax : 025-285-6699 E-mail : office@niigatagis.com

GISワークショップ 参加申込書

事務局宛 FAX 025 (285) 6699

団体名	
電話番号	
申込完了メール 返信先アドレス	

参加者氏名

所属・役職

参加者氏名	所属・役職